

ブッシュ真空ポンプ 保守点検のお願い



安全にご使用いただくために

BUSCH製真空ポンプの性能と安全性を確保して末永くお使い頂くために、裏面をご参照いただき、自己診断をお願い申し上げます。万一、不具合箇所やご不明点等ございましたら、ご購入頂きました販売店又は日本ブッシュまでお気軽にお問い合わせください。

メーカー保証オーバーホールのお勧め

弊社では定期的なオーバーホールの実施を推奨しております。
弊社でオーバーホールしたポンプには以下のような**メリット**があります：

- ✓ **Check!** 新規購入品と同じ保証内容！
- ✓ **Check!** サービス担当は定期的に研修を受けた専門家！出張修理も可能です
- ✓ **Check!** 梱包資材や修理期間中の代替機（有償）もご用意しております！お気軽にご相談ください

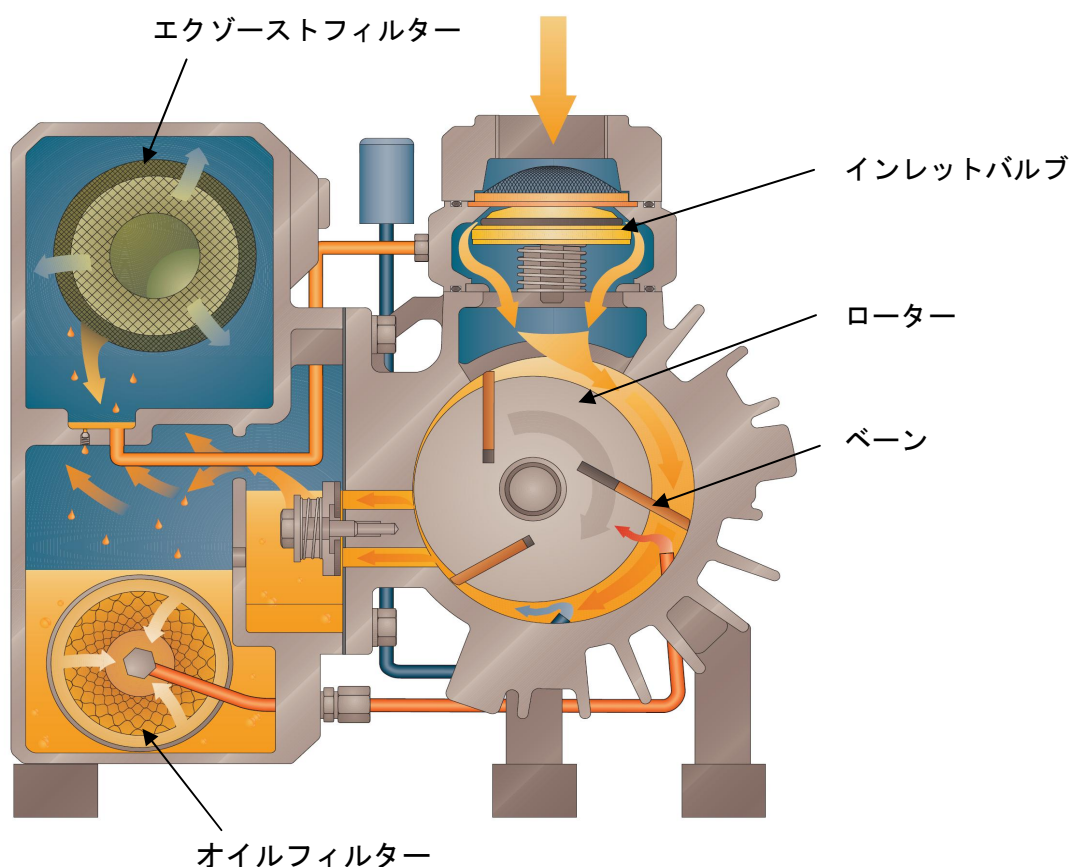


日常メンテナンス、定期オーバーホールを適切に実施しない場合や、設置周囲温度が高い場合は重大な事故（オイル発火事故等）が発生する事があります。



推奨周囲温度 : 5~40°C

真空ポンプの構造



お問い合わせ・ポンプ送付先：

日本ブッシュ株式会社 www.busch.co.jp info@busch.co.jp

【サービスチーム】 〒259-1220 神奈川県平塚市めぐみが丘1-23-33 TEL(0463)50-4020 FAX(0463)50-4013

日本ブッシュ

検索



基本的なユーザーメンテナンス

* 常温にて空気のみを吸引した場合

	毎日	毎週	500h	1000h	3000h
オイルレベルチェック	※				
インレットフィルターエレメント清掃 (オプション品)		※			
オイル交換			※		
オイルフィルター交換 (一部機種は使用していません)				※	
エクゾーストフィルター交換					※

※ お客様の吸引ペーパー、設置環境等により交換周期が早まる場合がありますのでご注意ください。

オイルについて

油回転真空ポンプに於いて、オイルは各部の潤滑、シール効果、ポンプ冷却効果等、最も重要な役割を担っています。万一、オイルが酸化劣化、スラッジ化した場合、ポンプの能力低下やオイル漏れ、ポンプ焼付き等のトラブルが発生します。

➡ オイル状況チェック方法

真空ポンプのオイルサイトグラス (オイルレベルゲージ) にて、下記写真を参考にオイルの汚れ具合をご確認ください。



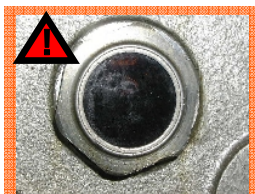
新油の状態



良好ですが変色があり、酸化し始めています。オイル交換をお勧めします。常にこの状態を維持できればOKです。



茶色く変色。透明感もなくなり、オイル漏れ、各部摩耗などが発生します。
※ オイルだけでなく、オイルフィルター、EXフィルターの交換を必要とします。
オーバーホール時期でもあります。



危険な状態です。スラッジ化したオイルが付着して、オイルレベルが確認できません。
早急なオーバーホールが必要です。いつ停止してもおかしくない状態です。



水分吸引により、オイルが白濁 (乳化) しています。オイル交換やフラッシングが必要です。(ポンプの停止後しばらくして泡が消えれば正常な状態で、オイルの乳化ではありません)

フィルター類

オイルフィルター、エクゾーストフィルターはポンプ内に吸引された埃やプロセスペーパー、オイルのスラッジなどが付着して目詰まりを起こすことがあります。

特にエクゾーストフィルターが目詰まりを起こすと背圧 (バックプレッシャー) が掛かり、ポンプ内圧が上昇してオイル漏れが発生しやすくなります。また、運転負荷も高く、ポンプが高温運転になり危険です。

➡ フィルター類チェック方法

オイルフィルター (一部機種は使用していません)

ポンプ運転開始より5~10分程経過して温まっていればオイルが循環しています。基本的な交換周期はオイル交換2回に対し、1回の割合です。

エクゾーストフィルター

給油口の背圧計 (オプション品) の値が0.06MPa (0.6kg/cm²) になったら交換の目安です。

※真空引き完了後はゲージの針は振れません。

ポンプ起動時等の大気吸引開始時の値を確認してください。

【背圧計が無い場合】

運転時間3000Hrを目安に交換してください。



インレットフィルターエレメント (オプション品)

エレメントが目詰まりすると真空引きが遅くなり製品に影響が出ることがあります。週に1度のエアブローが必要です。清掃しても真空引きの時間が遅い場合はお気軽にお問い合わせください。